

九州・沖縄地区の7月生コン出荷量（全生連九州地区本部）

前年同月比3.1%減、鹿児島県は10.2%増

全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部がまとめた8年度月別・地区別出荷実績によると、7月度は九州・沖縄地区（宮崎県を除く）で前年同月比3.1%減の合計6万5千7,826m³。

7月度の県別内訳は、「福岡県」が前年同月比5.2%増の2万5千6,094m³、「佐賀県」同18.4%減の2万3千233m³、「長崎県」同17.5%減の4万9,864m³、「熊本県」同11.2%減の8万6,052m³、「大分県」21.1%減の5万6千373m³、「鹿児島県」同10.2%増の8万6,607m³、「沖縄県」同1.9%減の10万8,249m³。福岡県、鹿児島県が増加している。

8年度累計では、「福岡県」が前年度比8.1%増の93万5,808m³、「佐賀県」同29.3%減の7万7,401m³、「長崎県」同18.4%減の18万5,517m³、「熊本県」同11.9%減の34万9,783m³、「大分県」23.6%減の19万3,977m³、「鹿児島県」同9.4%減の26万8,729m³、「沖縄県」同10.8%減の40万5千544m³。福岡県が好調に推移している。